

『医療系のためのやさしい統計学入門』 正誤表

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠に有難うございます。

本書(2009年10月9日 第1刷分, 2010年6月15日 第2刷分)に, 下記のような誤りがございました。

ここに訂正させていただきますとともに謹んでお詫び申し上げます。

箇所	誤	正																		
78 ページ [例 2]の 解析対象者全体 (10,000 人) の表	解析対象者全体 (10,000 人) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>心筋梗塞 あり</th> <th>追跡開始時 の人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脂質異常症あり</td> <td><u>50</u></td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>脂質異常症なし</td> <td><u>30</u></td> <td>6,000</td> </tr> </tbody> </table>		心筋梗塞 あり	追跡開始時 の人数	脂質異常症あり	<u>50</u>	4,000	脂質異常症なし	<u>30</u>	6,000	解析対象者全体 (10,000 人) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>心筋梗塞 あり</th> <th>追跡開始時 の人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脂質異常症あり</td> <td><u>48</u></td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>脂質異常症なし</td> <td><u>32</u></td> <td>6,000</td> </tr> </tbody> </table>		心筋梗塞 あり	追跡開始時 の人数	脂質異常症あり	<u>48</u>	4,000	脂質異常症なし	<u>32</u>	6,000
	心筋梗塞 あり	追跡開始時 の人数																		
脂質異常症あり	<u>50</u>	4,000																		
脂質異常症なし	<u>30</u>	6,000																		
	心筋梗塞 あり	追跡開始時 の人数																		
脂質異常症あり	<u>48</u>	4,000																		
脂質異常症なし	<u>32</u>	6,000																		
78 ページ 本文 4 行目	相対危険として累積罹患率 ^{*10} の比を求めます。相対危険は <u>2.5</u> ^{*11} です。	相対危険として累積罹患率 ^{*10} の比を求めます。相対危険は <u>2.3</u> ^{*11} です。																		
78 ページ 側注 *11	脂質異常症あり群では, 4,000 人に対して 10 年間で心筋梗塞が <u>50 人</u> 発症したので, 累積罹患率は $50/4000 = 1.25\%$, 同様に脂質異常症なし群では $30/6000 = 0.5\%$ です。したがって, 脂質異常症なし群に対する脂質異常症あり群の相対危険は $1.25\%/0.5\% = 2.5$ となります。	脂質異常症あり群では, 4,000 人に対して 10 年間で心筋梗塞が <u>48 人</u> 発症したので, 累積罹患率は $48/4000 = 1.20\%$, 同様に脂質異常症なし群では $32/6000 = 0.53\%$ です。したがって, 脂質異常症なし群に対する脂質異常症あり群の相対危険は $1.20\%/0.53\% = 2.3$ となります。																		
78 ページ [例 3]の 冒頭文	さらに次の例をみてみましょう。喫煙歴のある <u>2,500</u> 人と喫煙歴のない <u>8,500</u> 人を 10 年間追跡し, …	さらに次の例をみてみましょう。喫煙歴のある <u>2,600</u> 人と喫煙歴のない <u>8,400</u> 人を 10 年間追跡し, …																		
78 ページ [例 3]の 解析対象者全体 (11,000 人) の表	解析対象者全体 (11,000 人) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>脳卒中あり</th> <th>追跡開始時の人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>喫煙あり</td> <td><u>110</u></td> <td><u>2,500</u></td> </tr> <tr> <td>喫煙なし</td> <td><u>290</u></td> <td><u>8,500</u></td> </tr> </tbody> </table>		脳卒中あり	追跡開始時の人数	喫煙あり	<u>110</u>	<u>2,500</u>	喫煙なし	<u>290</u>	<u>8,500</u>	解析対象者全体 (11,000 人) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>脳卒中あり</th> <th>追跡開始時の人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>喫煙あり</td> <td><u>115</u></td> <td><u>2,600</u></td> </tr> <tr> <td>喫煙なし</td> <td><u>285</u></td> <td><u>8,400</u></td> </tr> </tbody> </table>		脳卒中あり	追跡開始時の人数	喫煙あり	<u>115</u>	<u>2,600</u>	喫煙なし	<u>285</u>	<u>8,400</u>
	脳卒中あり	追跡開始時の人数																		
喫煙あり	<u>110</u>	<u>2,500</u>																		
喫煙なし	<u>290</u>	<u>8,500</u>																		
	脳卒中あり	追跡開始時の人数																		
喫煙あり	<u>115</u>	<u>2,600</u>																		
喫煙なし	<u>285</u>	<u>8,400</u>																		
79 ページ 側注 *15	$\frac{110}{2500}$ $\frac{290}{8500}$	$\frac{115}{2600}$ $\frac{285}{8400}$																		

(つづく)

(つづき)

箇所	誤	正																		
81 ページ マンテル・ヘンツ エル法による相対 危険の公式	$RR = \frac{\sum \frac{a_i N_{0i}}{N_i}}{\sum \frac{b_i N_{1i}}{N_i}}$	$RR = \frac{\sum \frac{a_i N_{0i}}{N_i}}{\sum \frac{b_i N_{1i}}{N_i}}$																		
81 ページ 年齢階級による層 化解析 60 歳以上の表	<p>60 歳以上</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>心筋梗塞あり</th> <th>観察人年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高血圧あり</td> <td><u>40</u></td> <td><u>22,000</u></td> </tr> <tr> <td>高血圧なし</td> <td><u>30</u></td> <td><u>23,000</u></td> </tr> </tbody> </table>		心筋梗塞あり	観察人年	高血圧あり	<u>40</u>	<u>22,000</u>	高血圧なし	<u>30</u>	<u>23,000</u>	<p>60 歳以上</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>心筋梗塞あり</th> <th>観察人年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高血圧あり</td> <td><u>48</u></td> <td><u>28,000</u></td> </tr> <tr> <td>高血圧なし</td> <td><u>24</u></td> <td><u>22,000</u></td> </tr> </tbody> </table>		心筋梗塞あり	観察人年	高血圧あり	<u>48</u>	<u>28,000</u>	高血圧なし	<u>24</u>	<u>22,000</u>
	心筋梗塞あり	観察人年																		
高血圧あり	<u>40</u>	<u>22,000</u>																		
高血圧なし	<u>30</u>	<u>23,000</u>																		
	心筋梗塞あり	観察人年																		
高血圧あり	<u>48</u>	<u>28,000</u>																		
高血圧なし	<u>24</u>	<u>22,000</u>																		
81 ページ 年齢階級による層 化解析 60 歳未満の表	<p>60 歳未満</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>心筋梗塞あり</th> <th>観察人年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高血圧あり</td> <td><u>5</u></td> <td><u>30,000</u></td> </tr> <tr> <td>高血圧なし</td> <td><u>5</u></td> <td><u>40,000</u></td> </tr> </tbody> </table>		心筋梗塞あり	観察人年	高血圧あり	<u>5</u>	<u>30,000</u>	高血圧なし	<u>5</u>	<u>40,000</u>	<p>60 歳未満</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>心筋梗塞あり</th> <th>観察人年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高血圧あり</td> <td><u>2</u></td> <td><u>12,000</u></td> </tr> <tr> <td>高血圧なし</td> <td><u>6</u></td> <td><u>58,000</u></td> </tr> </tbody> </table>		心筋梗塞あり	観察人年	高血圧あり	<u>2</u>	<u>12,000</u>	高血圧なし	<u>6</u>	<u>58,000</u>
	心筋梗塞あり	観察人年																		
高血圧あり	<u>5</u>	<u>30,000</u>																		
高血圧なし	<u>5</u>	<u>40,000</u>																		
	心筋梗塞あり	観察人年																		
高血圧あり	<u>2</u>	<u>12,000</u>																		
高血圧なし	<u>6</u>	<u>58,000</u>																		
81 ページ マンテル・ヘンツ エル法による相対 危険の計算式	$RR = \frac{\sum \frac{a_i N_{0i}}{N_i}}{\sum \frac{b_i N_{1i}}{N_i}} = \frac{\frac{40 \times 23000}{50000} + \frac{5 \times 40000}{70000}}{\frac{30 \times 22000}{50000} + \frac{5 \times 30000}{70000}} = 1.4$	$RR = \frac{\sum \frac{a_i N_{0i}}{N_i}}{\sum \frac{b_i N_{1i}}{N_i}} = \frac{\frac{48 \times 22000}{50000} + \frac{2 \times 58000}{70000}}{\frac{24 \times 28000}{50000} + \frac{6 \times 12000}{70000}} = 1.6$																		
82 ページ 本文 1~4 行目	<p>…，参考までに，60 歳以上の層での相対危険は <u>1.4</u>，60 歳未満の層での相対危険は <u>1.3</u> となります。60 歳未満の層での心筋梗塞の罹患数は各群で <u>5 名ずつ</u> と少ないため，相対危険の信頼性は低くなります。</p>	<p>…，参考までに，60 歳以上の層での相対危険は <u>1.6</u>，60 歳未満の層での相対危険は <u>1.6</u> と、<u>それぞれ計算されます</u>。60 歳未満の層での心筋梗塞の罹患数は各群で <u>2 名および 6 名</u> と少ないため，相対危険の信頼性は低くなります。</p>																		
157 ページ マンテル・ヘンツ エル法による相対 危険の式	$RR = \frac{\sum \frac{a_i N_{0i}}{N_i}}{\sum \frac{b_i N_{1i}}{N_i}}$	$RR = \frac{\sum \frac{a_i N_{0i}}{N_i}}{\sum \frac{b_i N_{1i}}{N_i}}$																		

以上